

名前

/

1 次の A～G の文章を読み、あとの問いに答えよ。

- A 1873 年に① 徴兵令を出して、20 歳以上の男子に 3 年間兵役に就くことを義務づけ、近代的な装備をもつ新しい軍隊をつくった。同じ年に征韓論をめぐる政府内部の争いで西郷隆盛たちが政府を去った後、佐賀、熊本、福岡、山口などで士族の反乱が次々に起こった。a 1877 年には、西郷隆盛が鹿児島^aの士族におされて兵をあげたが、徴兵制による政府の軍隊に**しづめられた**。
- B 1894 年、朝鮮国内で民間信仰の東学を信じる人々が、農民と結び、日本や欧米諸国の追放と政治改革をめざして兵をあげた。これに対抗するために朝鮮政府が清に出兵を求めると、戦争の準備を進めていた日本も、清との条約を理由に朝鮮に出兵し、日清戦争が始まった。戦争は、近代的な軍隊を整えた日本の勝利に終わり、翌年、b 下関で講和会議が開かれた。
- C 義和団事件後、ロシアは満州に軍隊をとどめ、清や朝鮮への影響力を強めた。そのため、朝鮮を勢力範囲として確保したい日本は、ロシアとの対立を深めた。日本は、満州はロシアの、朝鮮は日本の支配下におくという交渉を行ったが、両者の対立は大きく、1904 年、② 日露戦争が始まった。c 戦争が長引くと日本は兵力や武器・弾薬がとほしくなり、ロシアでも革命運動が起こるなど、両国とも戦争を続けることが難しくなったので、1905 年、アメリカ大統領のなかだちにより講和会議が開かれた。
- D 1914 年、オーストリア皇太子夫妻の暗殺事件をきっかけに、第一次世界大戦が始まった。日本は、1914 年にドイツに宣戦布告して、ドイツが支配していた中国の山東半島や、太平洋の南洋諸島を占領した。1917 年になると、アメリカも連合国側について参戦し、これにより連合国側が優勢となり、1918 年に戦争が終わった。翌年、d パリで講和会議が開かれた。
- E e 中国の統一を進める国民政府に対して、日本の軍部や勢力拡大をめざす人たちの中には、満州を中国から切りはなして領有しようとする者が現れた。1931 年、満州に配置されていた関東軍は、奉天付近で南満州鉄道の路線を爆破し、これを機に軍事行動を起こした。その後満州の主要地域を占領した関東軍は、満州国の建国を宣言し、事実上日本の植民地とした。
- F 1937 年、(i) 郊外の (ii) で起こった日本軍と中国軍の武力衝突をきっかけに、③ 日中戦争が始まった。やがて戦火は上海にも拡大し、全面戦争へと発展した。国民政府は、共産党との戦いをやめて、共産党と協力して日本軍と戦うことを決めた。日本軍は、首都 (iii) を占領したが、国民政府は、首都を重慶に移し、抗戦を続けた。
- G 日本は、日中戦争のゆきづまりを打開するために、1940 年、インドシナ北部に侵攻し、さらに日独伊三国同盟を結んだ。1941 年には日ソ中立条約を結び、インドシナ南部へも軍を進めた。こうした中で、アメリカは、日本の動きに警戒を強め、日米関係は悪化した。日本は、アメリカとの戦争をさけるために日米交渉を行ったが、予定した期間内に交渉はまとまらず、ついには戦争を決意した。1941 年 12 月 8 日、日本軍は、ハワイの真珠湾を奇襲攻撃し、f 太平洋戦争が始まった。

問 1 下線部 a に関して、この戦いを何というか。()

問 2 下線部 b に関して、この時に得た賠償金を用いて北九州に建設された官営の製鉄所を何というか。()

問 3 下線部 c に関して、この戦争中に「君死にたまふことなかれ」の詩を発表した人物を、次の

名前

ア～エのうちから一つ選べ。()

ア. 平塚らいてう イ. 樋口一葉 ウ. 津田梅子 エ. 与謝野晶子

問4 下線部dに関して、この会議において日本の二十一か条の要求の取り消しが認められなかったため、中国で起こった講和条約への反対運動を何というか。()

問5 下線部eに関して、この時に国民政府の実権を握っていた人物を、次のア～エのうちから一つ選べ。()

ア. 孫文 イ. 蔣介石 ウ. 毛沢東 エ. 李鴻章

問6 文章Fの(i)～(iii)に入る適語の正しい組み合わせを、次のア～エのうちから一つ選べ。()

ア. (i) 北京 (ii) 盧溝橋 (iii) 南京

イ. (i) 北京 (ii) 柳条湖 (iii) 南京

ウ. (i) 南京 (ii) 盧溝橋 (iii) 北京

エ. (i) 南京 (ii) 柳条湖 (iii) 北京

問7 下線部fに関して、この戦争は2発の原子爆弾が落とされた後、日本がポツダム宣言を受諾して終わったが、原子爆弾が最初に落とされた都市はどこか。()

問8 下線部①に関して、徴兵令が出された頃に新政府が行った政策について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選べ。()

ア. 1871年の版籍奉還の後、岩倉具視を全権大使とする使節団を欧米諸国に派遣した。

イ. 殖産興業のいっかんとして、1872年に官営模範工場の富岡製糸場を大阪につくった。

ウ. 1872年に学制を定め、すべての国民に小学校教育を受けさせることにした。

エ. 1873年から土地の値段である地価の3%にあたる額を現金で納めさせる地租改正を行ったが、地租は引き下げられることはなかった。

問9 下線部②に関して、日露戦争の前後に起きたできごとについて述べた次のI～IIIについて、古いものから年代順に正しく並べたものを、下のア～カのうちから一つ選べ。()

I 日本は、イギリスと日英同盟を結んだ。

II 日本は、三国干渉を受け入れて、遼東半島を清に返還した。

III 日本は、朝鮮(韓国)を併合して植民地とした。

ア. I—II—III イ. I—III—II ウ. II—I—III

エ. II—III—I オ. III—I—II カ. III—II—I

問10 下線部③に関して、日中戦争後の国内の状況について述べた文として誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選べ。()

ア. 国家総動員法が定められ、資源や国民を議会の承認なしで戦争に動員できるようになった。

イ. 米や砂糖・マッチ・衣料品などの生活に必要なものは、配給制や切符制になった。

ウ. 陸軍の青年将校が部隊を率いて、軍をおさえようとした大臣などを殺害し、東京の中心部を占拠する、二・二六事件が起こった。

エ. 政党や政治団体が解散して大政翼賛会に合流し、労働組合も解散して国家に奉仕する団体になった。